

北海道大学と三菱 UFJ 信託銀行、 サステナビリティ推進に向けた包括連携協定を締結

【概要】

国立大学法人北海道大学（総長：寶金清博、以下「本学」）と、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長：窪田 博、以下「三菱 UFJ 信託銀行」）は、持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティの推進に向けた包括連携協定を、2026年6月1日付けで締結しました。

これまで両者は、経済学部における寄附講義の開講や、グリーントランスフォーメーション先導研究センターとのトランジション技術の評価に関する共同研究に取り組んできました。本協定の締結により、これらの取り組みを大学全体へと拡張し、人材育成から社会実装までを一体的に推進していきます。

【協定締結に至る経緯】

環境・社会課題への解決に向けては、新たな産業・社会構造への転換を促すサステナブルファイナンスの重要性が高まっており、その担い手である金融機関の役割は一層大きくなっています。特に、長期的視点を有する機関投資家がサステナビリティを考慮したインベストメントチェーンを構築することは持続可能な経済成長の実現に不可欠です。

本協定では、三菱 UFJ 信託銀行の金融分野における知見と、本学の学術的知見を融合し、協働で新たな価値創出に取り組めます。また、多様なステークホルダーとの対話・連携を通じて、環境・社会課題の解決への貢献を目指します。

さらに、北海道・札幌市は「GX/AI 金融・資産運用特区」に指定されており、GX/AI 関連産業の集積とそれを支える金融機能の強化が期待されています。また、「資産運用立国実現プラン」においても、金融経済教育の充実による金融リテラシーの向上の重要性が示されています。こうした社会的要請を背景に、本協定を締結するに至りました。

本協定を通じて、技術・経済・政策が一体となったエコシステムを市場に導入し、健全なサステナビリティ産業の育成に寄与するとともに、大学と金融機関による共創モデルを構築していきます。

【連携の内容】

本協定に基づき、以下の分野において連携して取り組みます。

- (1) サステナビリティ推進に向けた人材育成
- (2) サステナビリティ推進に向けた研究推進
- (3) サステナビリティ推進に向けた政策提言
- (4) サステナビリティ推進に向けた成果の社会実装
- (5) その他、本協定の目的の達成に必要な事項

【協定の有効期限】

2026年6月1日～2028年3月31日（協定終了を希望する場合を除き、更新を予定）

お問い合わせ先

北海道大学サステナビリティ推進機構 教授 加藤 悟（かとうさとる）

T E L 011-706-4608 F A X 011-706-4884

メール contact@sustainability.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/>

北海道大学社会共創部産学連携課

T E L 011-706-9482 F A X 011-706-9198 メール kyodo@research.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp